



ラ フォレ セ ラ ヴィ ー森こそ命ー

La Forêt, C'est la Vie !



穀物の粉を熱湯で練り上げたブルキナファソの国民食「トー」(写真左)
手でちぎって、濃厚なソース(写真右)をつけて食べます。

ところ変われば…

現地の一般家庭では、まだまだ水道・電気の設備が整っていません。そのため、食事は食べる度に一から作ります。便利で手頃な屋台も重宝されていますが、やはり家庭料理に勝るものはありません。

まずは火おこしから。町ではガスボンベも導入されつつありますが、主流は薪もしくは炭です。鍋を一つしか載せられない小さなカマドで、先に主食となるトーやお米を準備し、次に付け合わせのソースを作ります。ソースは、トマト・落花生・オクラ等をベースに、好みや家計に合わせて魚・肉・野菜を加えて煮込みます。材料は、自家菜園もしくは市場で必要な分だけを調達します。

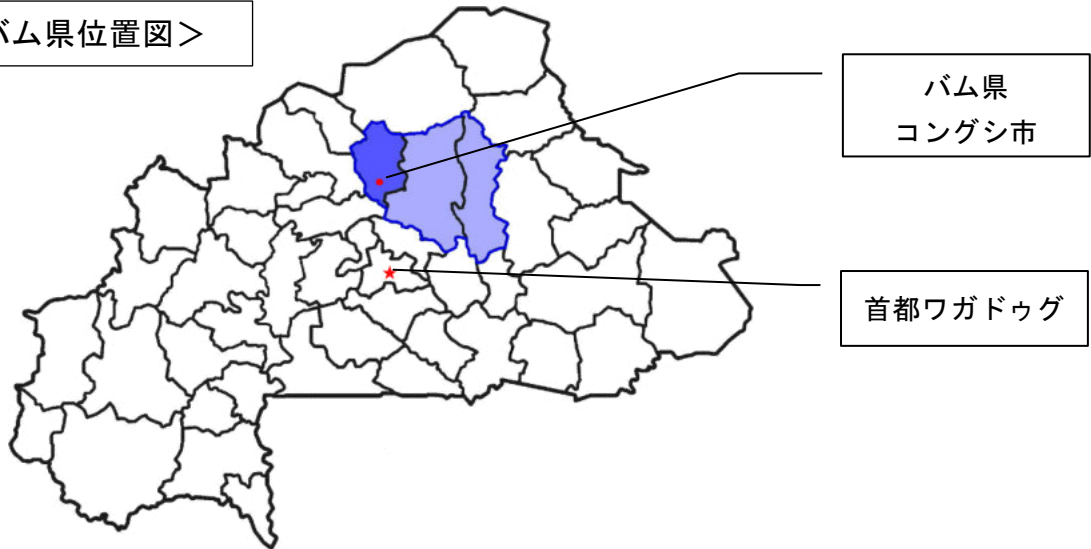
ゆったりと腰かけて、家族やご近所さんとお喋りや休憩しながら下ごしらえ、そこには生活の知恵がちらほら。例えば、散らばった野菜くずは、家畜が食べてキレイになるとか、カマドに鍋を一つずつしか載せられなくても、主食を先に準備すれば、ソースを作っている間にちょうど良い蒸れ加減になって手で食べられる温さになる等々。子供達は幼い頃から否応なく手伝わされているので、自然にこうした知恵や手順が身に付きます。

現地で日常生活を垣間見ると、故郷の懐かしい思い出が蘇ったり、新しい発見・気づきがあったり、その度に心がほっこり温かくなります。

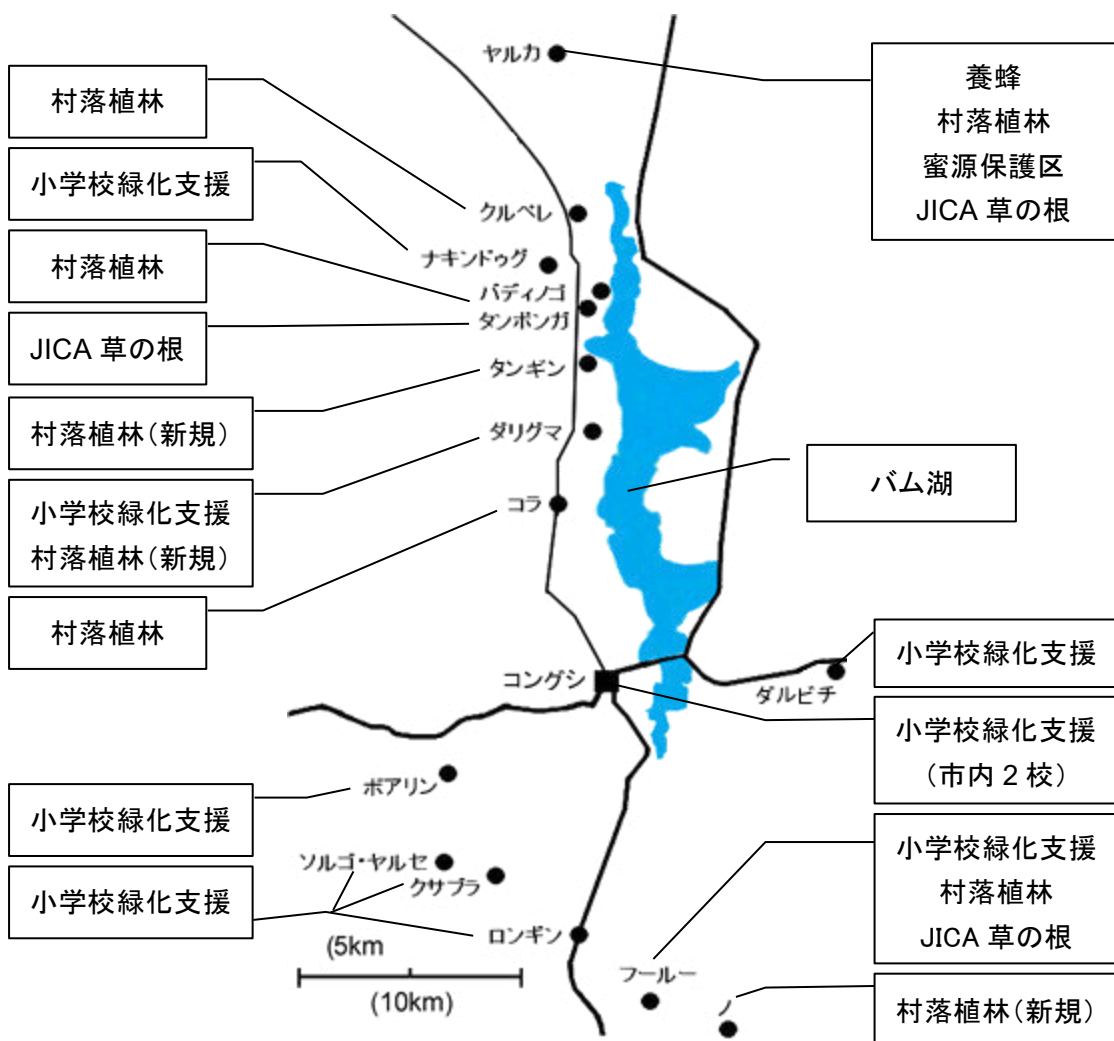
緑のサヘル/現地調整員 大谷恵美

ブルキナファソの活動地域図

<バム県位置図>



<バム県コングシ地域活動実施村位置図>



ブルキナファソから 1



そろそろ雨季が終わります。10月の栽培地では、穀物の穂が立ち並んでいる風景を目にすることができます。熟すまでには1ヶ月ほどかかるため、収穫できるのは11月中旬ごろになります。住民が新ソルガム（モロコシ）や新ミレット（トウジンビエ）をたくさん食べられるようにと、期待しています。

JICA 草の根技術協力事業

<養蜂>

フールー村で行なわれている養蜂ですが、前号に続いて採取した蜂蜜の販売についてお伝えしたいと思います。前号では仲買業者に買ってもらっているとお伝えしましたが、養蜂グループのメンバーは定期市での直接販売も行なっています。

9月に、近隣のやや大きな町サブセの定期市で、メンバー2名が差掛け屋根の付いたスペースに腰を下ろし、巣が入ったままの蜂蜜とろ過済みの蜂蜜の両タイプを販売しました。ラベルは手書きですが、値段やタイプ（液体か巣付きの区別）の他に、「フールー村」と書かれています。

2時間ほどの間に、複数の人々が立ち寄り、巣付きやろ過済みの蜂蜜を購入していきました。定期市の規模はそれほど大きくありませんが、こうして直販することで、周囲の認知度が高まっていくと思います。



店先に立ち寄った女性客。この女性は一ろ過済み蜂蜜を購入しました。

<ディゲット・アンドロポゴン>

ディゲット（石堤）が設置された栽培地では、穀物が順調に成育しています。石に沿って植えられたアンドロポゴン（イネ科多年草）も、よく茂っています。両者により、侵食防止と土中水分の改善効果が発揮されています。

現地で栽培されているソルガムは丈が高くなりますが、よく見かけるものよりもさらに高いような気がします。茎も太く、しっかりとしており、大きな穂が付いても倒れることはなさそうです。どこかしら、勢いを感じる成育ぶりです。

9月以降、雨の降る頻度が間遠になっているのが気になりますが、もうしばらくは降雨が続いてもらわないと困ります。収穫を楽しみにしている住民の期待が裏切られないことを願っています。



成長したアンドロポゴンと栽培されているソルガム(9月) (フールー村)

ブルキナファソから 2



村落植林プロジェクト

5 村で実施していますが、対象村と対象者の再選定を進めています。村落植林で植栽しているユーカリは、きちんと管理を続ければ、5 年後には用材として販売できるほどに成長します。現行の各村の実施者の中には、そろそろ用材販売を始められそうな植栽地が出てきています。

一方で、かねてより、他の複数の村の住民から植林活動への参加希望が寄せられていました。本プロジェクトの開始時から、地域への広がり を考慮し、希望者には積極的な支援をしたい という思いがありました。



既存の植栽地では、ユーカリが順調に成育しています。（ヤルカ村）

このような状況を踏まえて、現地の協力団体の見解を参考に、現行の支援対象者を絞り込むと共に、1 村を対象から外して 3 村を加えることになりました。実際に入れ替わるのは植栽作業が行なわれる 11 月からです。村落植林プロジェクトでは特にフェーズを分けていませんが、新しい実施期間が始まる思いです。

チャドから



一部地域で食料の不足が懸念されています

雨季も終盤ですが、雨の降り方は順調で、多くの地域で良好な収穫が期待されています。しかし、降水量で見るとやや過剰であり、南部の 2 州では洪水が発生し 300ha が水面下になりました。

一方で、降雨が不足気味の地域が 4 地点あります。しかし、雨季後の野菜栽培や晩生のソルガム栽培でカバーできる見込みです。

市場には、十分な量の穀物が出回っています。ただし、北部の 3 州では、リビアとの国境地帯の治安状況が悪化していることを警戒し、流通量が減少しています。



バイリ川の洪水により浸水した村の住居
(2001 年)

食料の問題は、生産ではありません。「食べる」という観点から考えると、いろいろな段階を経て、私たちは「食べ物」を手に入れていることに気付かされます。

国内活動



今期は、「グローバルフェスタ」、「三鷹市国際交流フェスティバル」の2イベントに出展したほか、「ニュースレターNo.71」の発行、「2018年オリジナル・カレンダー」の作製と販売を行ないました。また、今年も盛岡市立下橋中学校の皆さんにお話しさせていただく機会を得ました。

＜ 東京事務局での主な活動一覧 ＞

8月	3日(木)	「グローバルフェスタ 2017」 出展説明会	出席	(本所)
	5日(土)	「三鷹国際交流フェスティバル」 事前説明会	出席	(本所)
9月	13日(水)	ニュースレターNo.71 発送	—	—
	24日(日)	三鷹市国際交流フェスティバル (井の頭恩賜公園)	出展	—
	30日(土)	グローバルフェスタ 2017 (お台場：～1日)	出展	—
10月	1日(日)	2017年オリジナル・カレンダー 販売開始	—	—
	24日(火)	盛岡市立 下橋中学校 講演 (2年生 103名)	担当	(菅川)
	25日(水)	盛岡市立 下橋中学校 事務所訪問 (2年生 6名)	担当	(菅川)

下橋中学校 講演 & 事務所訪問

10月24日、下橋中学校（岩手県盛岡市）2年生を対象とした講演を行ないました。この講演は同校の修学旅行に合わせ、滞在先のホテルで実施するもので、ここ数年の恒例となっています。

同校による「緑のサヘル」支援は20年目を迎えており、当日は当団体事務局長の菅川が、現地の状況や活動の紹介、支援による成果の報告を行ないました。



熱心にノートをとりながら話を聞く生徒たち。



生徒代表からご寄付をいただく菅川。この後、生徒全員による合唱も披露してくれました。

講演後には、生徒たちから多くの質問が寄せられ、最後に生徒代表より菅川に今年度のご寄付が手渡されました。このご寄付は、下橋中学校の皆さんが現地の小学校の緑化を支援するために続けている「ブルキナファソ募金」を通じて、一年間積み立てたものです。

また、翌25日には6名が事務局を訪問し、「緑のサヘル」の国内活動や運営についても学んでくれました。下橋中学校の皆さん、本当にありがとうございました！



2018年カレンダー絶賛販売中!!



「緑のサヘル」がお届けする「2018年オリジナル・カレンダー」、只今絶賛発売中です！ 素敵な風景の数々が、皆さんをアフリカへと誘います。ぜひ、お楽しみ下さい。

購入をご希望される方は、カレンダーチラシ、または「緑のサヘル」東京事務局までメールかFAXにてお申込み下さい。

A4変形（広げた時 A3変形）オールカラー28ページ

価格：1部 1,200円（税込み）、送料 200円（全国一律・何部でも）

【 緑のサヘル 2018年オリジナルカレンダー取り扱い店 一覧 】

東北	Organic, Ecology & Fair Trade おいものせなか	岩手県	花巻市
北陸	楽器屋 JUN JUN	新潟県	新潟市
関東	紀伊國屋書店 新宿本店	東京都	新宿区
	紀伊國屋書店 吉祥寺東急店	東京都	武蔵野市
	アフリカ屋	東京都	荒川区
	梅田洋品店	東京都	港区
	八重洲ブックセンター 本店	東京都	中央区
	カフェギャラリー&窯 ぱおぱぶ	神奈川県	横浜市
	稽古場 風	茨城県	水戸市
関西	紀伊國屋書店 梅田本店	大阪府	大阪市
	民族楽器の店 ジェンベ	兵庫県	神戸市
WEB	アフリカ専門輸入・卸 アフリカンスクエア	—	
	アフリカ雑貨 さらま交易	—	

インターン終了のご挨拶

「緑のサヘル」の皆様、約9カ月間、どうもありがとうございました。インターンを通して、国際協力の第一歩を踏み出せたような気がします。インターンでは、活動国の状況やその実態、NGOの業務や役割、援助における核の部分も少し知れたと思います。加えて、事務所の皆様から様々な貴重なお話を聞かせて頂いたり、私の将来についても相談させて頂いたり、本当に、大変お世話になりました。これからもここでのインターンの体験を忘れず、私自身、国際協力に携われるよう頑張っていこうと思います。

インターンは終了しましたが、今後もボランティアとして事務所にお邪魔したいです。これからも、よろしくお願いいたします。（山口和希）



ありがとうございました

＊敬称は略させて頂きました。

【 継続会員のみなさま 】

手嶋千恵子／室井光子／矢野友一郎・正代／森内和子／榎本雅子／本多れい子
上野幸子／援助修道会 管区本部

【 ご寄付を頂きました 】

賀川麻衣／小笠原弘子／碓井道子／瀬戸義子／松田曜子／西山鐵之助／小池昌子
津田俊博／村上和代／榎本みつ枝／太田宜子／高橋菜々子／加藤治郎／井山郁子
今井奈津子／森田康子／山田規矩子／田中順子／澄田静／増岡一樹／越智美代子
内村佳士／個別教育フォレスト 安多秀司／高倍宣義／伊藤良三
ショファイユの幼きイエズス修道会／株式会社グリムス／盛岡市立下橋中学校
援助修道会 管区本部／カフェギャラリー＆窯バオバブ 堀越信代

【 BOOK募金を通じてご寄付を頂きました 】

竹橋なお美／村上和代／石毛弘／一関市立東山中学校生徒会

他 匿名をご希望の方 1名

【 ハガキ・切手・商品券・図書カードなどをいただきました 】

坪居壽美子／盛岡市立下橋中学校

上記は 2017 年 8 月 1 日から 10 月 31 日までにご支援頂いた方、また、それ以前
にご支援頂き、お名前を掲載できなかった方のご芳名であり、11 月 1 日以降にご支援
下さいました方については、次号の掲載とさせて頂きました。

【 協力団体・助成団体 】

アフリカの砂漠で木を植えている日本青年を支援する会／(独)国際協力機構(JICA)
(公財)毎日新聞東京社会事業団／(公財)イオン環境財団(環境活動助成)
緑の募金(管理団体:(公社)国土緑化推進機構)／(公財)国際緑化推進センター
isave(シーブ(株))／アフリカ料理 トライブス／gooddo(株)
ジャパンギビング／(財)農村更生協会 ハケ岳中央農業実践大学校
(特活)国際協力 NGO センター／(特活)環境アリーナ研究機構／(株)グリムス
URBAN GREEN MAKERS (株)アールオーエヌ／(株)プレジャーワークス
ソーシャルアクションリング／マチウケル(株)廻船問屋
(財)環境メディアフォーラム／かざして募金 ソフトバンク／日蓮宗あんのん基金

「緑のサヘル」からお知らせ

お歳暮にはハヶ岳製品を！



※ 詳細は同封のチラシを御覧下さい!!



gooddo(グッドゥ)は、応援したい社会貢献団体を、誰でも今すぐ簡単に無料で支援することができます。gooddo のサイト(<http://gooddo.jp>)にアクセスし、「団体を探す」から「緑のサヘル」を選び、クリックして下さい。応援ポイントが貯まり、ポイント数に応じた支援金が「緑のサヘル」に届けられます。1日1クリック!!

【 もくじ 】

- | | |
|----------------|---------|
| 1・表紙 | 5・国内活動 |
| 2・ブルキナファソ活動地域図 | 6・事務局より |
| 3・ブルキナファソから 1 | 7・ありがとう |
| 4・ブルキナファソから 2 | 8・お知らせ |
| チャドから | |

< スタッフよりひと言 >

- ブルキナファソでは、穀物の収穫が始まりました。雨季後半になって雨の降り方が不調になったので、ソルガムの出来具合が気になります。(岡本)
- 今年は、東北、北陸、関東、関西と多くの地域でお話しすることが出来ました。皆さん、貴重な機会をいただき、本当にありがとうございました。(菅川)
- 季節外れの台風が過ぎ去ったと思ったら突然木枯らしが吹き始め、慌ててバオバブをベランダから室内に避難させました。空いたスペースには干柿を。さあ冬本番！皆さまも穏やかな冬を迎えられますように。(本所)
- もう足に霜焼けが...年々寒くなるのが早まっているような、もしくは現地出張のおかげで寒さに弱くなっているのかも...温かい食事とこまめな運動で代謝アップ！皆さんも御自愛下さい。(大谷)

ご贈答品・ご挨拶に
どうぞ

♪ メニューがリニューアルしました ♪

ハヶ岳農場の特産品

「ハヶ岳中央農業実践大学校」の新鮮な材料と確かな技術から生まれた品々。おなじみのチーズ・アイスクリーム・カレーに、卵・乳製品が加わりました。送料を含めた価格は下記の表のとおりです。

大学校のご厚意により、お求めごとに
定価の 20% が当会に寄付されます。

【お申し込み方法】

郵便振替用紙に、ご依頼人様とお届け先のご住所、氏名、電話番号、ご希望セット名と数量をご明記の上、下記までお振込みください。

00120-7-419488「緑のサヘル」

お振り込みからお届けまで10日程かかります。

		関東 北陸 南東北	信越 中部 北東北	中国	四国	北海道 九州	沖縄
A	アイス10個	4,644	4,752	4,860	4,968	5,076	5,616
B	3種アイス 10個	4,968	5,076	5,184	5,292	5,400	5,940
C	アイス6個	3,564	3,672	3,780	3,888	3,996	4,536
D	チーズ3種	4,536	4,644	4,752	4,860	4,968	5,184
E	カレー2箱/ チーズ5種	6,048	6,156	6,264	6,372	6,480	7,020
F	ヨーグルト/ 牛乳	2,916	3,024	3,132	3,240	3,348	3,888
G	カレー6箱	4,320	4,320	4,536	4,644	4,752	5,292
H	青卵12個 / ジャム2種	3,996	4,104	4,212	4,320	4,428	4,968
I	赤卵30個	1,728	1,836	1,944	2,052	2,160	2,700
J	アイス20個	7,668	7,776	7,884	7,986	8,100	8,964

※カレーは、甘口か中辛のどちらかをお選びいただけます。

内容の詳細をご希望の方は、事務局まで
ご連絡ください。詳細チラシをお送りいたします。

La Forêt, C'est la Vie !

Vol.72

編集 岡本敏樹 菅川拓也 本所稚佳江 大谷恵美 /印刷 社会福祉法人東京コロニー

発行所 (特活) 緑のサヘル ホームページ: <http://sahelgreen.org/> E-mail: agsj_tokyo@sahelgreen.org

〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋町 16 番地 NASビル 3F TEL:03-3252-1040 / FAX:03-3252-1041